

臨床心理基礎実習Ⅱ

必修 1単位
稲垣 綾子・尹 成秀・橋本 貴裕

1. 授業の概要(ねらい)

心理臨床家として心理療法や対人援助を行う上で、単に臨床心理学関連の理論や知識を得るのみではなく、体験学習を通してその理念や具体的な技法を総合的に体得する必要がある。実際の臨床心理学的な対人援助は、基本的理論や知識を背景としながらも、個性や関係性を重視しながら多様に展開していく。

本大学院では、心理臨床家を育てるために、「臨床心理基礎実習」と「臨床心理実習」を重要な必修カリキュラムとして位置付けている。この「臨床心理基礎実習」は修士1年全員を対象とするものである。この実習を通じて、心理療法や対人援助の基本的考え方や技法の習得を目指す。これらの習得によって、心理臨床家をを目指す実習生として実際にクライアントを担当し、臨床心理学的対応が可能となるレベルを目指す。

2. 授業の到達目標

この基礎実習の最終目標は、本学心理臨床センターにおいて、実際にクライアントへ対応できるレベルまで技能の向上を行うことである。この目標は当授業および実習に出席し毎回体験を積み重ねることで達成可能となるので、欠席しないようにコンディションを整えることが重要である。ケース担当実習にむけて、最低限身につけておくべき臨床的ふるまい、姿勢、技能についての評価・指導を行う。なお、心理臨床センターにおける実習は、教員による評価をもって一定の基準を満たした者が行うことができる。

具体的な到達目標は、以下の通りである。

- 1) 臨床心理基礎実習Ⅰにて修得した知識・技能・姿勢をふまえ、試行カウンセリングをはじめとする各種実習に適切な態度で臨むことができる。
【セラピストとしての態度】
- 2) クライアントが安心できる態度を身につけ、相談内容の相互理解を深めながら、クライアントの体験を促すことができる。
【関わり】
- 3) クライアントの臨床像及び背景を理解することができる。その理解や見立てを伝えることができる。
【見立て】
- 4) セラピストとしての体験を内省的に振り返り、自身の課題を見つけていくことができる。
【反省的实践】
- 5) 臨床倫理を意識し、守ることができる。
【倫理】
- 6) センター実習(運営実習や見学陪席等)において、適切なるふるまいと責任を果たすことができる。
【責任】

3. 成績評価の方法および基準

試行カウンセリング実習をはじめとする各アクティビティへの参加度・理解度40%

課題20%

実習生としての基本的姿勢・態度20%

センター実習(運営実習・見学陪席実習を含む)20%

4. 教科書・参考文献

教科書

- 土居健郎著 『新訂 方法としての面接』 医学書院
鐘幹八郎著 『試行カウンセリング』 誠信書房
熊倉伸宏著 『面接法』 新興医学出版社
平木典子著 『カウンセリングとは何か』 朝日選書

5. 準備学修の内容

臨床心理基礎実習Ⅱ開始前に、課題図書を読むこと。

実習形式の授業であるが、その準備・事後学修として種々の課題が呈示される。期限を守るのは勿論、関連文献に目を通すなどして、十分に取り組むこと。

6. その他履修上の注意事項

真剣に学ぼうとしている他の院生の邪魔をしないこと(私語、携帯電話、遅刻・欠席など)。主体的・創造的な参加が望まれる。また、実習生として指導を受ける立場であることを自覚し、教員・スタッフの指導、指示に従う姿勢が求められる。心理臨床家になるためには、単に授業に出席するだけではまったく不十分である。カリキュラムはあくまで最低限の考え方や体験を提供するものであり、それらをどのように深めていくか個人的に修練が必要となる。

心理臨床場面は常に未知の体験の連続である。知らないことへの探究心や研究の姿勢を持つことが重要となる。臨床心理学の研究のマインドを保ちながら、その基本となる姿勢をこの実習で身につけてほしい。

欠席しないようにコンディションを整える必要がある。

ゲストスピーカーを招くことがある。

他の実習やゲストスピーカーとの調整により授業内容に変更が生じる場合がある。

「臨床心理基礎実習Ⅰ」の単位を修得した人が履修できる。

この科目は臨床心理学専攻に特化した科目である。

7. 授業内容

- | | |
|-------|--|
| 【第1回】 | オリエンテーション
・試行カウンセリング実習ガイダンス
・見学陪席・ケース担当実習ガイダンス |
| 【第2回】 | ・センター実習(運営実習)の振り返り
・試行カウンセリング実習およびセンター実習(見学陪席)評価項目の説明 |
| 【第3回】 | ・心理臨床家の倫理
・サイコセラピー・心理支援の“設定” |
| 【第4回】 | ・試行カウンセリング実習・GSV1 |

- 【第5回】 ・試行カウンセリング実習・GSV2
- 【第6回】 ・試行カウンセリング実習・GSV3
- 【第7回】 ・試行カウンセリング実習・GSV4
- 【第8回】 ・試行カウンセリング実習・GSV5
- 【第9回】 ・試行カウンセリング実習・GSV6
・ケースレポートの書き方・自己評価について
- 【第10回】 ・ワークディスカッショングループ
- 【第11回】 ・プレイセラピーの基礎と実践
・プレイルームの使い方@センター
・プレイセラピー・ロールプレイ1
- 【第12回】 ・プレイセラピー・ロールプレイ2
- 【第13回】 ・箱庭療法の基礎と実践
・箱庭療法実習
- 【第14回】 ・家族療法の基礎と実践
・ジェノグラムワーク
- 【第15回】 個別SVによるまとめ(オンライン授業)